

複層ビニル床タイル 施工要領書

アイリスオーヤマ株式会社

1.商品の特性

- ・ビニル床タイルは堅固なものではないため、床下地に固定されることで床材として機能します。
- ・ビニル床タイルは、温度変化によって寸法変化しやすいです。施工環境を事前に確認することが重要です。
- ・高温に弱いので高温環境での使用や、熱源に近づくことは避けてください。変形するおそれがあります。
- ・ビニル床タイルは、まっすぐ施工しにくく、大面積では目地のずれが生じやすくなります。
- ・接着不良があると、剥がれ・突き上げ・目地隙きなどが施工後に形状変化が発生しやすくなります。
- ・ゴム製品や家具などの保護用ゴム材・塗料・防腐剤・殺虫剤によって、ビニル床タイルが汚染され、軟化あるいは変色を招く恐れがあります。

2.選定時のご注意

- ・現品見本や写真見本と製品の色が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・淡色のビニル床タイルの場合、汚れが目立ちやすくなります。選定時には色についても十分にご配慮ください。
- ・直射日光の当たる場所では変退色する可能性があります。カーテン・ブラインドなどで日よけしてください。
- ・ビニル床タイルの色調は光源の種類、光量により異なって見えることがあります。
- ・歩行マークは歩行量に対する耐久性の目安です。
- ・ビニル床タイルは熱に弱い性質を有しています。摩擦熱などにより、床面に変色、変形が生じる事があります。

3.運搬・保管方法

- ・重量物ですので、落下や放り投げるなどの乱暴な取扱いはしないでください。
- ・製品は平らな場所で、梱包をとかず・ずらさず積載して保管してください。
- ・積み過ぎや雨水などによる水濡れを避けてください。変形・変色・変質・汚染の原因になります。

4.施工手順

(1) 施工前の確認と注意

- ・急激な温度変化は目地隙き、突き上げの原因となります。室温になじませてから施工を開始し、施工中は急激な環境変化のないようにしてください。
- ・梱包材に記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始してください。同一床面上は、同ロットで仕上げてください。
- ・ロットの違いによる色差の生じる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・施工の際は、タイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色差のように見えることがあります。

(2) 下地の確認と注意

- ・下地の湿気や水分は、接着不良や床材の伸びなどを引き起こすため、注意が必要です。水分計にて施工前に必ず下地の水分を確認してください。
- ・コンクリート系の下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が加水分解し異臭（アルコール系）が発生する場合があります。施工前には必ず水分を確認し、十分に乾燥させてください。
- ・木質系下地に使用の際は、下地継ぎ目部の段差を十分に調整してください。タイル表面が平滑なタイルほど下地の段差が目立ちやすくなります。
- ・下地の汚れを完全に除去してから施工してください。接着不良の原因になります。
- ・下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙き・突き上げ・膨れ・臭気など招く場合があります。
- ・下地に段差・隙間・凹凸のある場合、その程度によってタイル表面に目立って現れる場合があります。
- ・下地から絶えず湿気の上昇があり得る場所でのご使用はおやめください。施工後に剥がれや臭気が発生する恐れがあります。

(3) 割付けと基準線

- ・左右対称に割付けます。（デザイン指示がある場合はそれに従い割付けます。）
- ・現場施工部分の寸法、出柱などの位置を実測し、これに応じた割付を行います。
- ・壁際などに1/3以下の寸法のものが入らないように、基準線をずらすなど状況に応じて割付をしてください。サイズが小さいと美観を損ねるだけでなく、接着不良を招くおそれがあります。

(4) 接着剤の塗布

- ・接着剤の選定は施工環境を十分に考慮してから行ってください。
- ・下地および施工環境に適正な市販の「アクリル樹脂系エマルション形」・「ウレタン樹脂系溶剤形」・「変成シリコン樹脂系反応形」接着剤を使用してください。
- ・使用前に接着剤の容器に記載されている事項をご参照ください。
- ・接着剤は貼り付け可能時間や作業スピードを考慮に入れ、必要な面積だけ塗布してください。
- ・有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気に心掛け、有機溶剤作業主任者立会いのもとで行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。

(5) 貼り付け

- ・下地によっては塗布量・温度・通風状態などにより若干変化します。下地に接着剤を塗布した後、必ず指触にて乾燥状態を確認してください。粘着性のある間はタイルの貼付けが可能です。
- ・接着剤所定の待ち時間をとります。そのあと目地ずれのないよう基準線に沿って、裏面の矢印を確認しながら、指定された貼り方で圧着しながら貼り付けていきます。
- ・製品によって寸法に若干のバラつきがあるので、目地ずれが発生することがあります。その際は、ずれが大きくならないうちに、基準線の取り直しをおこないます。
- ・壁際や柱回りのタイルの切込み枚数が多い場合は、接着剤が乾燥しないように塗布する前に切込みを行います。
- ・1枚1枚のビニル床タイルに色柄の変化や濃淡があるため、同じ色調のビニル床タイルが偏り違和感を感じた場合は、部分的に差替えることで自然な印象が得られます。

(6) 切込み

- ・壁・柱回り・パイプ周囲などに貼るタイルは、隙間や浮きがないように切込み、ハンドローラーを使い十分に圧着します。
- ・既に貼り終わったビニル床タイルの上でカット作業をする際は、養生用合板を下に敷くなどして、下側のタイルまで切り込まないように注意してください。

(7) 圧着

- ・貼り付け後にハンドローラーや45kgローラーなどで十分に圧着します。
- ・圧着不良は接着不良につながり、ビニル床タイルの反り・突上げ・剥がれなどが生じる場合があります。

5. 施工後の注意

- ・目違い・浮き・汚れなどの不具合の有無を点検し、不具合がある場合は処理をおこなってください。
- ・養生シートは、接着剤が十分固まってから使用してください。施工直後に養生シートを使用した場合、ビニル床タイルとシートの間に結露水・水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、タイルの反り・突上げなどが生じる可能性があります。
- ・施工後1週間は、直射日光・水洗い・急激な温度変化・重量物の往来は避けてください。突上げ・目地隙き・剥がれ・凹み跡などを発生させる可能性があります。
- ・タイル施工直後のワックス塗布は突き上げや反りの原因となるので、接着剤が完全に固まってから行ってください。
- ・梱包材などを焼却する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
- ・施工後の残材などを破棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。ビニル床タイルを焼却すると、有毒ガスが発生します。

6. 接着剤

- ・下地の種類や施工環境によって決定する必要があります。
- ・接着剤の取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- ・弊社推奨接着剤

一般工法

- ・ディノグリップECO-1
- ・フロアロック210

耐湿工法

- ・ディノグリップ505
- ・UM580